

令和3年度 さいたま市立第二東中学校 学校関係者評価書

さいたま市立第二東中学校
学校関係者評価委員長 原田 守康

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

9人

(2) 実施回数

3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- 学校評価アンケートは、保護者・生徒とも全体的に肯定的な回答が多い。学校の教育活動について、全体的に概ね評価されていると捉えられる。また、学校と生徒・保護者の信頼関係ができていると思われる。特に、相手を思いやって学校生活を送っていると肯定的に回答した生徒が98%と高く、大変すばらしいことだと思う。
- 「道徳」で学んだことをよく子どもが話してくれる。また、学活の時間には、先生と共に考える内容であったり、問題が生じた時に自分事として捉えることや相手の立場に立って指導して下さったりと、子どもの心に響く指導をしていただいているようである。
- 全クラスの「いじめ撲滅スローガン」を学校だよりで発信していたのが、大変すばらしかった。あのような学校の取組や生徒の様子を発信することは大変すばらしい。スローガンもよく考えられていた。
- レッツ・ジョイン・クリーン活動では、今年度もPTA本部役員の方を中心として、多くの保護者の協力もあり、大変充実した活動となった。生徒のみならず、多くの保護者、特に今年はお父さん方のご尽力もあり、校庭の雑草のほぼ全てを取り除くことができた。
- コロナ禍で、部活動や学校行事等制約があり、生徒の発達段階における影響が懸念されますが、学級活動やその他の諸活動で支援していただければと思う。
- 中学生という心も体も成長する時期にあり、友達との関係や先生方のアドバイスが必要であり、それが心のケアに繋がると思う。
- 安心メールを活用した出欠連絡は、保護者にとっては大変助かっている。ペーパーレスやICT化を進め、業務の効率化をさらに進めていただきたい。
- 地域としては、コロナ禍で学校や生徒の様子を見る機会がほとんどなく、なかなか意見等を述べづらい現状がある。
- 保護者も参観が全くない状況です。人数制限等の対策を行い、子ども達の姿を保護者にも見せていただきたい。
- いじめ防止に係るアンケートを毎月行っているが、どのように活かされているのか？認知件数と相談件数の比率など、実効性がある取組となるよう期待したい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 今年度も、コロナ対応等大変な中、本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただいていることに改めて感謝をするとともに、本校の教育活動について多方面から評価していただいたことを学校内で共有し、今後の学校運営の参考とさせていただく。
- 中学生の頑張りを、委員の方にご評価いただけたので、今後も「輝く笑顔 二東生」の育成に努めていく。
- 学校だよりやホームページ等、教育活動の発信の充実を図るため、校内体制を充実させるとともに、今年度チャレンジした合唱コンクールの動画配信を土台として、新たな情報発信の方法を模索し、家庭・地域に教育活動をご覧いただく機会を増やせるように努めていく。
- 現在の学校運営に係る取組について、形骸化しているものや実効性がないものなどを見極め、廃止や取り組み方を見直していく。

さいたま市立第二東中学校長 春山 悟 印